

# 添付資料: 今冬の電力需給見通しに関する報告徴収に基づく報告概要

## 1. 原子力の再起動がないとした場合の需給バランス

- 各H1需要(1日最大電力)における今冬の需給バランス(供給予備率)は、以下のとおり。
- (1) 2011年度実績 : (1月)12.7% (2月)13.4%
  - (2) 定着節電を織り込み, 2011年度厳寒並みの気温の場合 : (1月) 6.3% (2月) 7.7%
  - (3) 定着節電を織り込み, 平年並み気温の場合 : (1月) 9.3% (2月)10.6%

【単位: 万kW, %】

	1月			2月			
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	
<b>H1需要</b>	<b>1,045</b>	<b>1,096</b>	<b>1,072</b>	<b>1,045</b>	<b>1,096</b>	<b>1,072</b>	
供給力	原子力	0		0			
	火力	1,038			1,047		
	水力	50			55		
	揚水	124	111	118	118	113	118
	地熱・太陽光	0			0		
	融通	▲31			▲31		
	新電力への供給等	▲3			▲3		
合計	1,178	1,165	1,172	1,185	1,181	1,185	
供給予備力	133	69	100	140	85	113	
供給予備率	12.7	6.3	9.3	13.4	7.7	10.6	

(注)四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## 2. 需要見通し

- 2012年度冬季の需要見通しは、定着節電(▲16万kW程度)を織り込んで算定。

【今冬(2012年度)見通し(H1)】

※H1:1日最大電力 H3:最大3日平均電力

H1需要 (万kW)	備考	
(1) 1,045	・2011年度実績	・2011年度H1需要
(2) 1,096	・節電織込み ・2011年度厳寒並みの気温	・(【2012年度H3想定1,061万kW】+【2011年度厳寒影響24万kW】) ×【過去5年間のH1/H3比率(1.010)】
(3) 1,072	・節電織込み ・平年並みの気温	・【2012年度H3想定1,061万kW】 ×【過去5年間のH1/H3比率(1.010)】

【今冬(2012年度)見通しの要因(H3)】

2012対2010	万kW	備考
2012年度想定	1,061	・平均気温:1.6℃ (平年並, 過去10年間の平均)
2010年度実績	1,061	・平均気温:1.5℃
差分	0	
気温影響	▲5	
節電影響	▲16	
景気影響等	29	
離脱影響	▲8	

【昨冬(2011年度)の要因(H3)】

2011対2010	万kW	備考
2011年度実績	1,024	・平均気温:0.2℃(厳寒)
2010年度実績	1,061	・平均気温:1.5℃
差分	▲37	
気温影響	19	
節電影響	▲15	
景気影響等	▲38	
離脱影響	▲3	